

タイトル「2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)」、フォルダ「(共通)」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1136		
科目名	教育学 2		
担当教員	宮島 健次		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 2		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け(開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3 問題を探求し、状況を的確に把握・分析し、合理的な判断につなげられる知性</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンプリック(CR)との関連 C1 倫理的思考・社会認識(30%) D1 文化的素養・市民的教養(40%) I1 理解力・分析力(30%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	1 萌芽期～2 進行期		
科目概要・キーワード	<p>■科目概要 人と社会の関係を教育の問題から考察していく。学校教育が人の成長に今日ほど大きな影響を与えなかった時代にも焦点を当て、教育の原点に立ち返りつつ今日の教育問題と今後の学校教育の在り方を考察・研究する。受験勉強が中心であった学校教育の概念を根本的に覆し、教育を考える広い視点を追究する。特に、教育の制度から現代日本の教育問題を考察する。授業形態は講義形式により、オンライン(オンデマンド型)にて行います。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。</p> <p>■キーワード 教育制度・学校制度・教育病理・新自由主義・消費社会</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 教育の本質、もっといえば現代教育システムの本質についての理解をマクロとミクロの視点からとらえていく。</p> <p>■授業の目的 マクロの視点では、わが国の現代教育の問題点とその将来像について考える。またミクロの視点では、その危機が制度設計によるレベルの問題ではなく、社会の変化にともなって「子どもたち」そのものの性質が変化しているレベルの問題であることを理解し、その問題にどう対応していったらいいのかを受講生一人一人が自らの「ことば」で「考える」ことを目的とする。</p> <p>■授業のポイント 私たちがこれまで自明とってきた教育・学校制度というものに「疑いのまなざし」をもって、そもそもなぜその制度ができたのか、そしてそのためにどのような問題がクリアされ、逆にどのような問題が引き起こされてしまったのか、という問いを立てることが第一のポイントである。また、制度を運用するのは結局「人」であり、その「人」たちの行動が社会の変化や制度等によってどのように調整されていくのかといったことを理解することが二番目のポイントとなる。</p>		
総合到達目標	<p>■教育と社会との間にはどのような関係があるのか説明できる。</p> <p>■制度というものが教育や社会にどのような影響を与えているのか説明できる。</p> <p>■現在および将来のわが国の教育システムの問題点について考察できる。</p> <p>■現代の学校教育における危機の本質に対して、どのように対応したらいいのか自ら考え、判断できる。</p>		
成績評価方法	<p>■成績評価手段 授業参加度(リアクション・ペーパーを含む)(25%)、第1回レポート(35%)、第2回レポート(40%)</p> <p>■評価の観点 以下の4つの観点を基に総合的に判断します。 ①指定された分量を書いているか。 ②文章を書くルールにのっとっているか。 ③授業内容やテキストの内容が簡潔にまとめられているか。 ④授業内容やテキストの内容にとどまらず、自分の考えを論理だてて、具体例を用いてわかりやすく示しているか。</p> <p>■フィードバック方法 授業時間中に解説を行います。</p>		
履修条件	なし		
履修上の注意点	なし		
授業内容	回	内容	

1	<p>①授業テーマ 第1部 マクロの教育学へガイダンス</p> <p>②授業概要 マクロ的視点から現代の学校制度について理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(60分) シラバスを精読しておくこと。</p> <p>④復習(180分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
2	<p>①授業テーマ テキスト第5章「教職の専門性」の精読</p> <p>②授業概要 テキストの内容を通じて、教職の専門性について理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
3	<p>①授業テーマ テキスト第6章「テストと学力」の精読</p> <p>②授業概要 テキストの内容を通じて、テストと学力の関係について理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
4	<p>①授業テーマ テキスト第7章「格差と教育」の精読①</p> <p>②授業概要 テキストの内容を通じて、格差の現状について理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
5	<p>①授業テーマ テキスト第7章「格差と教育」の精読②</p> <p>②授業概要 テキストの内容を通じて、格差是正のツールとしての教育の可能性について理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
6	<p>①授業テーマ テキスト第8章「多様なニーズ」の精読</p> <p>②授業概要 テキストの内容を通じて、多様化する学び手にいかに対応するかについて理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
7	<p>①授業テーマ テキスト終章「未来の教育」の精読</p> <p>②授業概要 テキストの内容を通じて、未来の教育はどうあるべきかについて理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。中間レポート課題を作成すること。</p>
8	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(1) 学びから逃走する子どもたち</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第1回目は現代の学び手の学習態度について理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
9	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(2) オレ様化する子どもたち</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第2回目は現代の学び手の生活態度について理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
10	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(3) 現代社会と子どもたち①</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第3回目は現代の学び手に影響を与えている社会、特に消費社会について理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
11	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(4) 現代社会と子どもたち②</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第4回目は現代の学び手に影響を与えている社会、特にグローバルズムについて理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
12	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(5) 消費主体としての子どもたち</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第5回目は現代社会から影響を受けた子どもたちが身につけた行動様式について理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
13	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(6) 消費マインドにいかに対峙するか①</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第6回目は現代の学び手にどのように対峙していけばいいのか、特に「プロ」の教え手の実践から学ぶことについて理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
14	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(7) 消費マインドにいかに対峙するか②</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第7回目は現代の学び手にどのように対峙し</p>

	<p>ていけばいいのか、特に「素人」の教え手の実践から学ぶことについて理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習 (120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習 (120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
15	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学 (8) 消費マインドにいかに対峙するか①</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第8回目はこれまでのまとめを行う。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習 (120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習 (120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。最終レポートを執筆すること。</p>
関連科目	教育学 I (RMGT/SSCS 1135)
教科書	北野秋男・宮島健次他編『教育学へのアプローチ』啓明出版、2017
参考書・参考URL	適宜授業中に指示します。
連絡先・オフィスアワー	<p>〈連絡先〉 開講時に告知します。</p> <p>〈オフィスアワー〉 授業終了時、あるいはメール等によって対応します。</p>
研究比率	

